

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年8月16日(2018.8.16)

【公表番号】特表2017-527381(P2017-527381A)

【公表日】平成29年9月21日(2017.9.21)

【年通号数】公開・登録公報2017-036

【出願番号】特願2017-513526(P2017-513526)

【国際特許分類】

A 4 7 J 37/06 (2006.01)

【F I】

A 4 7 J 37/06 3 6 1

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月6日(2018.7.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

食品を調理する空気フライ機器であって、

上部支持部と、垂直回転軸周りに回転力を発生するためのギア装置を有する基部と、

該上部支持部上に設けられた容器と、

通気可能な底部を持つ食品バスケットであって、側部間隙が該容器の壁部と該食品バスケットの壁部との間に設けられ、底部間隙が該容器の底部と該通気可能な底部との間に設けられる様に、該容器内に設置される該食品バスケットと、

該容器の上部に設けられた上部蓋装置であって、該食品バスケット内の食品が高温空気の貫通流動によって調理されるように、該側部間隙と該底部間隙と該通気可能な底部とを流れて該食品バスケットに向かう循環空気流としての高温空気流を発生するために第一加熱手段と通気手段を持つシステムを備える、該上部蓋装置とを含み、

前記ギア装置は、少なくとも該食品バスケット内に配置された食品と該食品バスケット内の該高温空気流との間に相対的回転運動を提供する様に構成される、

空気フライ機器。

【請求項 2】

前記ギア装置は、上記の相対的回転運動を生じるために該食品バスケットを垂直回転軸周りに回転駆動する様に構成される、請求項 1 に記載の空気フライ機器。

【請求項 3】

前記ギア装置は、該食品バスケットを直接結合により回転駆動する様に構成される、請求項 2 に記載の空気フライ機器。

【請求項 4】

前記食品バスケットは、該容器に対して固定されており、該ギア装置は、該バスケット内の該食品を垂直回転軸周りに回転攪拌駆動する様に構成される、請求項 1 に記載の空気フライ機器。

【請求項 5】

前記基部は、該食品バスケットを支持するための食品攪拌具を備える、請求項 1 乃至 4 のうちのいずれか 1 項に記載の空気フライ機器。

【請求項 6】

前記基部は、該上部支持部を熱するための第二発熱体を備える、請求項 1 乃至 5 のうち

のいずれか 1 項に記載の空気フライ機器。

【請求項 7】

該食品バスケットに向かって空気を上方に案内するための、該食品バスケット下の該容器内に設けられた空気案内部材を更に備える、請求項 1 乃至 6 のうちのいずれか 1 項に記載の空気フライ機器。

【請求項 8】

前記ギア装置は、該空気案内部材を回転駆動する様に構成される、請求項 1 乃至 7 に記載の空気フライ機器。

【請求項 9】

更に食品攪拌子を該食品バスケット内に備え、該ギア装置は該食品攪拌子を回転駆動するように構成された、請求項 1 乃至 8 のうちのいずれか 1 項に記載の空気フライ機器。

【請求項 10】

前記第一加熱手段と前記第二加熱手段とを二元熱供給手段として備え、

第一加熱モードでは、該第一発熱体からの対流熱が該通気手段により発生される空気流に供給され、

第二加熱モードでは、該第二発熱体からの熱が該食品バスケット内、及び / 又は該容器内の該食品に供給される、

請求項 1 乃至 9 のうちのいずれか 1 項に記載の空気フライ機器。

【請求項 11】

該食品バスケットに対して該食品バスケット内の食品を攪拌するための第一回転手段と、

該食品バスケットと該高温空気流との間に相対的運動を提供する第二回転手段と、

から成る二元回転機構を更に備える、請求項 1 乃至 10 のうちのいずれか 1 項に記載の空気フライ機器。

【請求項 12】

前記機器は少なくとも第一動作モードと第二動作モードを備える多重モードの食品調理機器であって、

該第一動作モードは食品が該食品バスケット内に配置され、熱が主に該第一加熱手段により供給された状態である高温空気モード、

該第二動作モードは食品が該食品バスケット内、及び / 又は該容器内に配置され、熱が下から主に該第二加熱手段により供給された状態である料理モードである、

請求項 1 乃至 11 のうちのいずれか 1 項に記載の空気フライ機器。

【請求項 13】

第三動作モードは、食品が該食品バスケット内に配置され、熱が該第一加熱手段と該第二加熱手段とから供給される二元加熱モードである、請求項 12 に記載の空気フライ機器。

【請求項 14】

一時的に該上部蓋装置を該容器に結合するための補助機構を更に備える、請求項 1 乃至 13 のうちのいずれか 1 項に記載の空気フライ機器。